

- 1 足尾銅山鉱毒事件の解決を求め、政府に対して命をかけて訴えた政治家は誰？
- 2 自由民権運動の高まりを受けて、政府が国会開設を正式に約束した公的な文書を何といいますか？
- 3 八幡製鉄所などが発展を支えた、鉄鋼や機械などを作る大きな産業分野を何という？
- 4 自由民権運動の中で、国民の意見を政治に反映させるために開設が求められた機関を何という？
- 5 明治時代の産業革命を支えた、製糸業や紡績業などの産業を総称して何という？
- 6 明治時代の江華島事件や日朝修好条規の締結により、日本が外交的な影響力を強めた対象の国をどこという？
- 7 板垣退助が中心となって結成された、日本最初の本格的な政党を何という？
- 8 1905年、日露戦争後の韓国を保護国化するために日本が結んだ条約を何という？
- 9 日清戦争の講和条約で、日本が清から割譲された中国東北部の半島を巡る条約の名称は？
- 10 個人の感情や個性を尊重する、与謝野晶子らの文学思潮を何という？
- 11 黒田清輝の代表作であり、ある湖の情景を描いた作品の題材となった場所はどこ？
- 12 明治時代、天皇の相談に応じ国の重要事項を審議する最高機関として設置されたものは何？
- 13 明治時代に、不平等条約の改正や国会の開設などを求めて展開された政治的な運動を何という？
- 14 1885年の内閣制度発足に伴い、初代内閣総理大臣に任命された人物は誰？
- 15 日清戦争後に日本が獲得した遼東半島を清に返還するよう、ロシアやフランスとともに日本に圧力をかけた出来事を何という？
- 16 君主の権力が強いプロイセンの憲法を参考に、明治政府が作成を進めた憲法を何という？
- 17 足尾銅山鉱毒事件で、鉱毒により汚染された栃木県や群馬県を流れる川を何という？
- 18 日露戦争の講和のために結ばれた条約を何という？
- 19 明治時代末期の1911年に、過酷な労働条件から労働者を守るために制定された最初の法律を何という？
- 20 明治時代の工業化の進展により、輸入に頼っていた状況から国内で自給できるようになり、やがて輸出品へと変化した繊維製品を何という？
- 21 外務大臣として、日本を悩ませていた領事裁判権の撤廃に成功した人物は誰？
- 22 ペスト菌の発見や血清療法の開発など、細菌学の分野で世界的に活躍した医学者は誰？



① 書く  
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う  
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける  
言えたら□にチェック

| 問  | 解説                                                                                  | ▼ここで折る | 答え             | 言えた                      |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------|--------------------------|
| 1  | <b>田中正造</b> は栃木県出身の政治家として、被害農民の先頭に立って政府に救済を求めました。                                   |        | <b>田中正造</b>    | <input type="checkbox"/> |
| 2  | 1881年、政府は国会開設の詔（ <b>国会開設の勅諭</b> ）を出し、10年後の1890年に国会を開くことを約束しました。                     |        | <b>国会開設の勅諭</b> | <input type="checkbox"/> |
| 3  | 八幡製鉄所の操業は、造船や機械製造といった <b>重工業</b> を発展させる土台となりました。                                    |        | <b>重工業</b>     | <input type="checkbox"/> |
| 4  | 自由民権運動において、板垣退助らは政治に民意を反映させるために、国民が選んだ議員による議会である「 <b>国会</b> 」の開設を強く求めました。           |        | <b>国会</b>      | <input type="checkbox"/> |
| 5  | 初期の産業革命において、綿糸や絹糸などの生産を中心とする <b>軽工業</b> は、日本の輸出の大部分を占めるまでに成長しました。                   |        | <b>軽工業</b>     | <input type="checkbox"/> |
| 6  | 1875年の江華島事件の後、1876年に日本は <b>朝鮮</b> と日朝修好条規を結びました。                                    |        | <b>朝鮮</b>      | <input type="checkbox"/> |
| 7  | 1881年、板垣退助は「 <b>自由党</b> 」を結成しました。                                                   |        | <b>自由党</b>     | <input type="checkbox"/> |
| 8  | 1905年に結ばれたこの協約により、日本は韓国の外交権を奪いました。                                                  |        | <b>第二次日韓協約</b> | <input type="checkbox"/> |
| 9  | 1895年4月に調印され、日本側全権として伊藤博文と陸奥宗光が参加しました。                                              |        | <b>下関条約</b>    | <input type="checkbox"/> |
| 10 | 個人の自由な感情や情熱を解き放つことを目指す思想です。                                                         |        | <b>ロマン主義</b>   | <input type="checkbox"/> |
| 11 | 黒田清輝の代表作「湖畔」は、箱根の <b>芦ノ湖畔</b> で描かれました。                                              |        | <b>芦ノ湖畔</b>    | <input type="checkbox"/> |
| 12 | 1888年に設置された「 <b>枢密院</b> 」は、憲法制定や緊急の政治課題について天皇の相談に応じ、合議で意見を述べる最高諮問機関でした。             |        | <b>枢密院</b>     | <input type="checkbox"/> |
| 13 | 板垣退助らが国会開設の建白書を提出したことを皮切りに、全国で憲法制定や国民の権利を求める運動が拡大しました。                              |        | <b>自由民権運動</b>  | <input type="checkbox"/> |
| 14 | <b>伊藤博文</b> は、岩倉使節団の一員として欧米を視察し、帰国後は憲法制定や内閣制度の導入に主導的な役割を果たしました。                     |        | <b>伊藤博文</b>    | <input type="checkbox"/> |
| 15 | ロシアはフランス・ドイツを誘い、日本に対して領土の返還を強く求めました。                                                |        | <b>三国干渉</b>    | <input type="checkbox"/> |
| 16 | その結果、1889年に発布された <b>大日本帝国憲法</b> では、天皇が統治権をもち、陸海軍の統帥権なども天皇に属するという体制が規定されました。         |        | <b>大日本帝国憲法</b> | <input type="checkbox"/> |
| 17 | 銅山から流出した鉱毒は、 <b>渡良瀬川</b> の水を汚染し、その川から水を引き込んでいた広大な農地や水田に深刻な被害を与えました。                 |        | <b>渡良瀬川</b>    | <input type="checkbox"/> |
| 18 | この条約により、日本はロシアから韓国での指導権を認められ、旅順・大連の租借権や南樺太の割譲を獲得しました。                               |        | <b>ポーツマス条約</b> | <input type="checkbox"/> |
| 19 | <b>工場法</b> は、特に被害を受けやすかった女性や年少者の労働時間を制限し、危険な仕事への就業を禁止するなど、労働環境の改善を目指した法律です。         |        | <b>工場法</b>     | <input type="checkbox"/> |
| 20 | 紡績業の発展により、日本国内で <b>綿糸</b> を大量に生産できるようになりました。                                        |        | <b>綿糸</b>      | <input type="checkbox"/> |
| 21 | <b>陸奥宗光</b> は外務大臣として、イギリスとの間で日英通商航海条約を調印しました。                                       |        | <b>陸奥宗光</b>    | <input type="checkbox"/> |
| 22 | ドイツに留学してコッホに師事した <b>北里柴三郎</b> は、破傷風の血清療法を世界で初めて開発し、帰国後にはペスト菌を発見するなど世界を驚かせる業績を挙げました。 |        | <b>北里柴三郎</b>   | <input type="checkbox"/> |

言えなかった用語ノート